

## 5)陸上昆虫類

ヒメギフチョウ、シロオビヒメヒカゲ及びオオルリオサムシの3種については、事業の実施により湛水区域の生息環境は消失するが、対象区域の他の生息地及び湛水区域周辺に分布している同様な生息環境は現状どおり保全されるものと考えられること、チャマダラセセリ、ヒメウスバシロチョウ、カバイロシジミの3種については、確認された生息地が湛水区域外であり生息環境は現状どおり保全されるものと考えられることから、「環境要素への影響を努めて最小化する」という環境保全目標を満足する。

## (4)景観

景観については、事業の実施により湛水区域の山麓樹林の一部と農耕地が湖水に変化し、新たな景観を創出することから現状の景観に悪影響を及ぼすことはないものと考えられ、「環境要素への影響を努めて最小化する」という環境保全目標を満足する。